

(法第28条第1項関係様式)

平成26年度 事業報告書

平成27年4月1日 から 平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人いのちにやさしいまちづくりぽぽぽねっと

## ☆いのちのスープの会

### ■企画全体評価と反省点

1. 今期1月時点で、玄米スープの出張提供は4回あったものの、食事会は2回しか開催できていない。食事会については、昨年度から、その献立作りから始まる準備作業を複数の方々できるように協力者を求めてみたが、残念ながらそのような協力者を見出すことはできなかった。
2. 食事会において玄米スープの提供を必須としてきたことは定着している。食事会における、身体に優しい献立による調理と食事は、これに集う人々が調理と食事を楽しみながら、いろんな情報交換を行なえるいい機会になっていると思うが、出席者が少なく特に摂食や食事内容に課題を抱える当事者の出席が無いことが残念であった。
3. 他部会等が開催する集会に玄米スープを提供することは、患者さんや患者さんを支える人々に直接お会いできるまたとない機会であり、それらの方々への普及という点では意義はあったと考える。

日付	活動内容	会場	参加者	食事のテーマ/参加した催し
6月4日	玄米スープを供出	ぽぽぽのいえ	—	
6月11日	玄米スープを供出	ぽぽぽのいえ	—	
6月28日	玄米スープを供出	金沢赤十字病院	—	平成27年度第1回金沢がん哲学外来
7月4日	食事会	しあわせのいえ	6	野菜のコンソメスープ
9月5日	食事会	しあわせのいえ	4	なすと大麦のスープ
9月27日	玄米スープを供出	金沢赤十字病院	—	平成27年度第2回金沢がん哲学外来
2月27日	食事会	しあわせのいえ		
2月28日	玄米スープを供出	金沢赤十字病院	—	平成27年度第4回金沢がん哲学外来

### ■その他特記事項

食事会は、クマリフトさんの施設インフラ（しあわせのいえの設備と人）に依存しすぎていたのでそれを脱却すべく食事会準備作業への協力者を募ることから始めたが、得られなかった。

しあわせの家の事情により本部会の中心的存在であった山田理事の活動に制限が生じ、参加者およびその家族にもいのちのスープを必要とする方が不在の状況です。

28年度は、新部長のもと利用施設の検討を含めて再スタートを切ります。

## ☆ぽぽぽ聞き書きの会

### ■企画全体評価

1. 「聞き書きカフェ」第1回：聞き書きのすすめ／第2回：聞き書き体で書いてみよう  
第2回：一冊の本にするためには、 第3回：製本の仕方  
2年目となり、実践者が6名ほど育ってきた。製本の仕方を学ぶことでより形になり、受講生の皆さんに喜んで頂けた。中でも、語り手と講師の聞き手の実践を確認することができたこ

とが一番よかった。

## 2. 「聞き書きで育むいのちにやさしいまちづくり」

講師が素晴らしく、参加者の皆さんに十分に聞き書きの魅力を伝えることができた。

開催日時	2015/6/27、11/28、2016/1/9、2/4 午前10時～12時 2016/3/5 午後13時半～15時	参加人数	カフェ 計50名 講演会 計50名
会場	ややのいえ		
講師	カフェ：天野 良平先生、講演会：小田 豊二先生、天野 良平先生		

### ■反省点

聞き書き～製本までとなると、一人で仕上げるとなると躊躇してしまう。それぞれの力量に応じた作業の分担など工夫が必要。

### ■その他特記事項

平成27年はふるさと共創チャレンジ事業に採択されたことにより、一般市民の皆様に関き書きの良さを広めることができた。28.29年も引き続きチャレンジ事業に採択してもらえるように継続する。医療、教育分野まで広められるように努力する。27年度は3月5日の聞き書きカフェを中心に聞き書きの備品をそろえることができた。

## ☆障がい児・者の居場所づくり

### ■企画全体評価

1. 「小松市みんなのバリアフリーマップ+」の冊子が完成し、関係機関やイベントで配布して積極的に広報活動した。当法人・小松市障害者自立支援協議会・小松市のホームページにおいても小松短大のリンクを張り冊子を公開した。  
施設面の障壁だけを調査するのではなく、人的配慮が得られるかをも聞き取り調査した独自のマップは「心のバリアフリー」への啓蒙となった。
2. 「バリアフリーマップ+」制作委員会が、第17回石川県バリアフリー社会推進賞の活動部門において最優秀賞を受賞し公的にも評価を得た。  
他機関の研修やイベントにも参加し交流を図った。
3. 小松市と個人商店の身障者トイレに対する助成に関しての内容確認と、バリアフリーに関わる関係各課の役割を確認した。
4. 小松市民センターのトイレのバリアフリー改修に際し改善提案を求められ、関係課と協議した。

### ■反省点

各協働機関の体制の変化に伴い順次対応の確認が必要となった為、調査を進める事が出来なかった。調査依頼関係の書類の再編成が進まず、動きが作り出せなかった。

### ■その他特記事項

調査関係書類の再編集、既調査データの集約の確認後、新規の調査を始める。  
平成28年度は、部会名を「障がい者の居場所づくり」に変更する。

## ☆子育て中の親子の支援事業

### <ほっとたいむ>

#### ■企画全体評価

今年度は、民間非営利子育て支援団体「ほっとたいむ」結成5周年にあたり、7月10日(金)再度三砂ちづる氏を迎えて講演会「生活をデザインする力」を実施した。

その後、運営委員が実施する「生活デザイン力養成講座」7回シリーズに継続的参加をすることにより、日常の時間の使い方に工夫が生まれ、子育て中の日々がより豊かなものとなるように工夫し、講座を展開した。生活、食事、遊びの3項目を中心に体験と話し合いを繰り返し、各回ともに参加者には喜ばれ充実したものとなった。

その後、7回の生活力養成講座を実施、8月～2月毎月1回水曜日10時～11時30分

1回 8月26日 生活時間調べ

2回 9月30日 結果を話し合い、過ごし方の工夫を考える。

3回 10月21日 食事は生きる力の源、食事の大切さを考える。

4回 11月25日 空腹が最大のごちそう、食事で工夫したことを話し合う。

5回 12月16日 子どもの心と体を育む遊びについて話し合う。

6回 1月20日 食べる⇒遊ぶ⇒寝るの好循環を生む生活を工夫する。

7回 2月17日 生活時間や心にゆとりを見つけられたか…。

#### ■反省点

これまでの参加者が次第に子供の成長とともに卒業していき、予定の参加人数を確保できず、新たな継続的参加者を募る方法に課題が残った。

実施場所も従来の小松市・白山市から、今年度は金沢市に移動したのでニーズと参加しやすい場所の選定に熟考が必要と思われた。後半は一部白山市で実施した。

#### ■その他特記事項

来年度は設立時の民間非営利子育て支援団体「ほっとたいむ」にもどり活動したい。

ぽぽぽねっとには今後も相互理解協力のもと、発展的な関係を保てるようお力添えをいただきたいと願っています。

### <そらまめ教室>

#### ■企画全体評価

今年度は、参加者及び小松市の要望があり通常の子育て相談のほかに個別相談、訪問相談にも対応した。委託先の小松市すこやかセンターと情報を共有し、対応を協議しながら進めた。

#### 1. そらまめ教室 延べ357名(内乳幼児179名)

- ・毎月4回、木曜日の午前に実施(但し、参加する親子は2組に分かれ、月2回の参加とした。)各回の参加者は3組から6組、スタッフは保健師、保育士が交替で各回、3名で担当。
- ・1回目はあらかじめ計画した簡単な手作業や遊びを通し、スタッフや母親同士が繋がりをもち、生活や子どもへの関わり方に気づきを得られるような機会となるように工夫した。

- ・ 2回目は日頃の悩みや不安などスタッフや参加者同士で話し合う時間を多くとるようにし、それぞれの持つ問題の解決の糸口をつかめるようにした。

## 2. 個別相談 13件

- ・ そらまめ教室の参加者に固定せず、開催日の午後予約制で子どもの発達、母親の状況、個々の生活等から抱える悩みについて個別相談を受け、助産師、保育士各1名で個別的な対応、支援を行った。

## 3. 個別訪問相談 5件

- ・ そらまめ教室参加者の第二子出産を受け、出産後要望のあった家庭へ助産師、保育士各1名が訪問し相談にのって支援する。

### ■その他特記事項

- ・ 相談の回数、機会が増えることにより、よりきめ細かい支援が可能になった。
- ・ 個人差はあるものの、母親同士のつながりや自立に向けての姿も見られるようになった。
- ・ 次年度も小松市より委託を受け、今年度同様、3パターンの相談事業を継続実施する。

## ☆次世代育成事業

### ■企画全体評価

金沢大学の卒業生、在学生、小松市の医療保健福祉従事者等を中心に若者生活体験クラブ「ぐりこの会」を立ち上げた。畑づくり、梅干しづくり、奈良漬づくり、能登のやまんばの企画、山菜取り&料理教室、ワイルドウーマン夏時間・秋時間への参加等を通じて仲間づくりができた。小松市のふるさと共創チャレンジ事業に「ぐりこの会」として応募し採択されたことで予算が確保された。

自主的に運営できる会となったため来年度は「ぐりこの会」として活動する。

4月～ : 畑づくり

5月4日 : 山菜取り&料理教室

7月10日 : 梅仕事

7月20日 : ワイルドウーマン夏時間

7月26日 : 奈良漬

9月19日 : 能登のやまんばワークショップ

10月11日 : いちじくジャム、梅仕事

11月3日 : ワイルドウーマン秋時間

11月17日、12月2日、12月9日 : 着付け教室

## ☆ぽぽぽいのちの学校

### ■企画全体評価

講座のテーマ

- ① 4月23日 第7回 : 『発達凸凹の共感と理解』 益本克彦先生
- ② 5月22日 第8回 : 『逝く人からのおくりもの』 村井真須美先生
- ③ 7月24日 第9回 : 『信じて生きる』 小坂直樹さん
- ④ 10月30日 第10回 : 『暮らしの中で死にゆくこと』 竹熊千晶先生、樋口千恵子先生

- ⑤ 12月8日 第11回：『第1回偉大なるお節介症候群 友の会 in こまつ』 樋野與夫先生  
吉川厚子さん
- ⑥ 2月6日 第12回：『家族の条件 豊かさの中の孤独』 春日キスヨ先生
- ⑦ 3月5日 第13回：『聞き書きで育むいのちにやさしいまちづくり』 小田豊二先生  
※1時間講義、1時間座談会 延べ参加人員128名

#### ■反省点

昨年度の反省から早めに内容や講師を準備し広報できるように努力したが、参加者把握に課題が残った。また、県内や小松市内で活躍している人を中心に講師を依頼していく方針については、7回8回と地元からお呼びすることができたが、年度の後半は県外の著名な方々をお迎えする機会が増えた。なお新規会員の拡大にも取り組み、6名の入会があった。

#### ■その他特記事項

9回目から会場を「ややのいえ」に移し、広い会場で開催できたことにより、参加者の増大をはかることができた。

### ☆事務局&魂のいちばんおいしいところ

#### ■企画全体評価

1. 平成27年度は11回の部会長会議と19回の事務局会議を毎月実施し、各部の連携と、活動の共有が図れた。
2. HPの更新原稿が集まらず、総会后とその他2回の更新となった。今年度はユーミンのサイトを利用できたが、次年度はライトマネージメントのサーバーを利用する。
3. ぽぽぽねっとの事務所移転の提案が出され、定款変更の必要があった為11月15日臨時総会を開催し、平成28年4月から小松市末広町への移転が確定した。同日保健文化賞の受賞祝賀会を実施し、70名以上の出席者で盛会の内に終了した。
4. 平成28年3月16日の理事会にて事務所移転の最終承認がおりて、4月5日付にて法務局への登記も完了した。
5. 通常総会で承認された事務所への常駐は、平成28年1月より実施し月2万円の手当で中道さんがその任に就いた。

#### ■魂のいちばんおいしいところ部会

当部会は部会長会が中心となってぽぽぽねっとの全体行事を担当することとし、27年度は4月に“花見の会”を開催した。メイン行事は準備期間と設定しています。

以上